

再評価調書（再々評価）

事業名	佐野川水系 雨山川 通常砂防事業				
所在地	泉南郡熊取町大字野田 外				
再々評価理由	再評価後5年を経過した時点で継続中				
事業概要	目的	都市に直接的に土砂災害を及ぼす恐れのある溪流について、砂防設備の整備を促進し、土石流等の土砂災害に備える。			
	内容	溪流保全工 護岸工 L = 1,900m			
	事業費	全体事業費 計画約 10.0億円 投資事業費約 8.9億円 内用地費 計画約 3.1億円 内用地費約 3.1億円 (土地単価約3.1万円/m ²) 内工事費 計画約 6.9億円 内工事費約 5.7億円 (工事単価約36.3万円/m) 再評価時点における事業費 約 10.0億円			
	維持管理費				
	上位計画	岸和田土木事務所管内砂防基本計画			
	関連事業				
事業の進捗状況	経過	計画時の想定	再評価時点	現時点	分析 計画時の年次別事業費の確保が困難になり年数を要した。
		事業採択年度	-	-	
		事業着手年度	S46年	S46年	
		完成予定年度	H11年	H24年	
進捗状況	用地 -%	用地 100%	用地 100%		
	工事 -%	工事 74%	工事 83%		
途中段階の整備効果発現状況	護岸整備により河道の安定を図り、出水時における氾濫を防止し、保全対象の安全を確保する。				
事業進捗に関する課題					

事業を巡る社会情勢の変化	事業目的に関する諸状況	計画時の想定	再評価時点での状況	現時点での状況	分析
		渓床には不安定土砂が多く堆積しており、洪水時に多量の土砂が流出するおそれがある。	同左	同左	諸状況に変化なし。
事業を巡る社会情勢の変化	地元等の協力体制	町から強い要望がある。	同左	同左	地元等の協力体制に変化なし。

		計画時の想定		再評価時点での状況	現時点での状況（変更点）	分析
			備考			
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益分析の手法が確立されておらず、算出できず。		費用便益分析は行なっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ B / C = 1 2 . 1 4 便益総額 B = 1 2 1 . 4 億円 総費用 C = 1 0 . 0 億円 具体的な便益内容 ・ 人命、財産の保護 受益者 地域住民、府民 算出根拠 国土交通省河川局河川計画課監修 「治水経済調査マニュアル」 国土交通省河川局砂防部（H15） 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」 	砂防事業による十分な費用対効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）					
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる。		変更点特になし	変更点特になし	工事進捗どおり、土砂災害による被害の軽減が図れている。
	活力					
	快適性					
	その他					
自然環境等への影響と対策						
その他特記すべき事項	前回再評価時の意見具申・府の対応方針の概要 （意見具申） （府の対応方針） 事業継続	今回再評価時点の反映状況				